

## 研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。以前の先行研究（Liquid biopsyを応用した消化器悪性腫瘍の診断法の確立）における情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 6月

福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 杉本 充

### ■ 研究課題名

液体生検を応用した消化器悪性腫瘍の診断法の確立

### ■ 研究期間

2023年6月 ～ 2028年4月

### ■ 研究の目的・意義

膵癌などの消化器悪性腫瘍の予後は不良であり、早期の発見及び切除が予後の改善につながります。しかし、現在の最新の画像診断あるいは組織採取法(生検：biopsy)を用いても診断が困難な症例が多数あり、より高感度の診断方法の確立が至急必要です。近年、研究手技の目覚ましい発展に伴い、腫瘍細胞に由来する極微量の遺伝子を検出することが可能となりました。この手技を用いて、血液などの体液中の腫瘍由来遺伝子を測定することで、今までにない低侵襲かつ高感度の悪性腫瘍診断ができる可能性が模索されています。この診断方法を一般的に liquid biopsy（液体生検）と呼びます。

本研究では、血液・消化液を用いた liquid biopsy により消化器悪性腫瘍の診断法を確立することを目的とします。

### ■ 研究対象となる方

2015年から2021年に実施した先行研究「Liquid biopsyを応用した消化器悪性腫瘍の診断法の確立」（整理番号2387）に御参加いただいた方。

## ■ 研究の方法

---

上記先行研究でいただいた血液、胃液、十二指腸液、胆汁、膵液などの消化液、唾液、便、最終診断との対比のために生検、手術等で得られた病変（過去のもので余っているものも含む）の腫瘍由来遺伝子、既存のバイオマーカーを測定いたします。

診療方針については本研究の内容に依存せず、標準的な治療を提供させていただきます。

## ■ 研究組織

---

この研究の研究事務局は福島県立医科大学消化器内科学講座であり、研究代表者は福島県立医科大学消化器内科学講座 杉本充です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長竹之下誠一です。

## ■ この研究に関する問い合わせについて

---

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

## ■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

---

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当：杉本 充

電話：024-547-1202 FAX：024-547-2055

e-mail：intmed2@fmu.ac.jp